

2024連合ジェンダー平等推進中央集會に参加！

男女平等参画・ジェンダー平等で持続可能な社会へ！

10月25日に、「2024連合ジェンダー平等推進中央集會」が開催されました。対面とオンライン併用で開催され、生保労連からも各組合の女性登録者の方を中心に参加し、全体では1,400名以上が対面とオンラインで参加しました。



▲パネルディスカッションの様子

一人ひとりが意識を共有し、組織一体となった取組みを

芳野友子連合会長は冒頭の挨拶で、「連合は、1989年の結成以来、男女平等参画に向けた取組みを推進してきた。その最新の取組みである連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ2のスタートを切る今こそ、各組織のトップリーダーの強いリーダーシップのもと、組織一丸となって取組みを加速させるときである」と決意を述べました。

続いて、小原成朗総合政策推進局長より、「男女平等参画・ジェンダー平等で持続可能な社会へ！」と題した基調提起がなされました。



▲力強く決意を述べる芳野連合会長

声をあげる女性が排除されない社会をめざして

次に、東京大学瀬地山角教授より、講演とパネルディスカッションを通じて、「ジェンダー平等で持続可能な社会を」をテーマに討議が行われました。

「男女比の歪みは結論を歪める」という認識をもって取組みを進める

最後に、集會アピールを採択し、「集會では様々な気づきがあったが、その根本は、『男女比の歪みは結論を歪める』ことに起因する。その認識をもった上で自組織の様々な活動に対し『変える』・『変えない』についての議論を行っていただき、ジェンダー平等の実現の取組みを一步でも前に進めてほしい」との決意表明を共有して閉會しました。